



黒電話、炭火アイロン、タライに洗濯板。昔懐かしい古道具の写真を手にとり思い出を振り返って語りあう回想法。「これは洗濯板とタライでしょ。よく外で遊んで服を汚して帰ったら親に怒られてこれで洗ってたの。冬場は水が冷たいのよね。」「これは懐かしいアイロンだね。これはここから炭を入れて使うんだよ」と自然と会話が弾みます。利用者様が過ごしてきた生活の情景が広がるようです。

## ボランティア募集

当施設では各種ボランティアを募集しております。ジャンルは問いません。但し充足しているジャンルの場合や当施設の方針にそぐわない場合、必ずしもお受け出来ない場合もございます。まずは下記連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。

TEL : 0493-56-6123  
担当者：鈴木 恵美子

## 10月の趣味の教室

- 書道教室【大倉 佳子先生】  
10月 1日(月)  
10月15日(月)  
2階 13時15分～
- 折紙教室【田中 三枝子先生】  
10月 3日(水)  
2階 13時30分～
- 詩吟教室【佐藤 譲先生】  
10月17日(水)  
2階 13時30分～
- 編物教室【梶谷 和子先生】  
10月 9日(火)  
10月30日(火)  
2階 13時30分～

## 10月の行事予定

- 10月24日(水)  
「琴伝流スイートピー」の皆様による  
大正琴の演奏会  
2階 デイルーム 13時30分～

## 10月の定例催し物

- 音楽会 【宮岡 久美子様】  
10月11日(木) 10時40分～ 3階
- 朗読 【関根 洋子様】【高橋 政子様】  
【小川 かづ江様】【あすなる様】  
10月 9日(火) 15時30分～ 2階  
10月23日(火) 15時30分～ 2階  
10月25日(木) 10時40分～ 2階  
10月30日(火) 15時30分～ 3階

## 滑川まつり

今年も「文化の日」に滑川まつりが開催されます。当施設は例年通り、下記の内容で出店致します。お祭りにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

1. 日 時：11月3日(土)  
午前10時から午後3時まで
2. 会 場：滑川町総合運動公園
3. 出店内容：サーターアンダギーの販売

※サーターアンダギーは毎年好評につき、お昼頃には完売の可能性がございます。購入を希望される方はお早めにお越しください。

## 編集後記

日が短くなり、朝晩は肌寒ささえ感じます。季節の変わり目ですので体調の変化にお気を付け下さい。  
編集責任者 金子 弘幸



介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873  
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124

いづみのホームページ <http://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>



## 巻頭言

### 「地域包括ケアシステム」の構築



医師 赤塚 俊隆

早いもので、私がいづみケアセンターの常勤医として赴任して2年半が過ぎ、ようやく老健医師の仕事に少し慣れたように思います。

その間に、介護老人保健施設に求められる社会的役割が大きく変わり始め、今年の介護報酬改定に伴い、「在宅復帰施設」としての機能に重きを置かれるようになったことは、本誌4月号にある施設長の巻頭言にも書かれています。その背景には、厚労省が2025年を目途に「地域包括ケアシステム」を推進していることがあります。そのねらいは、重度な介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供するシステムを実現しよう、というものです。そして大事なことは、そのようなシステムは、国が設計して地域に提示するのではなく、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げるということです。すでに各自治体ではそのような取り組みが始まっており、システム実現に向けて全国の市町村では地域包括支援センターが設置され、この滑川町を含む比企郡でもすでに7つ設置されています。

私はいづみに赴任する前は、埼玉医大・微生物学・教授として19年間、肝炎ウイルス研究と医学生教育を行っておりました。その間も共同研究や各種委員会活動を通じて臨床系教授らと接点がありましたが、地域医療について知るようになったのは、まだ数年前のことです。その頃、医大でも地域医療に力を入れることになり、衛生学と公衆衛生学の2教室を解体し、社会医学教室と地域医学推進センターが設立されました。そのすぐ後に私はいづみケアセンターに赴任し、医師として働き始めてから初めて、埼玉医大が地域医療の中核として存在し、県内の広い範囲に亘って種々の施設と連携していることを実感しました。そこで自分の埼玉医大・名誉教授という肩書きを利用し、直接面識がない方を含め、医大3病院の各診療科長らと連携を取らせていただきました。また私が在職19年間に指導し、今は立派な医師として近隣病院に派遣されている教え子たちともいろいろコンタクトするようになりました。そして最近は、入所者様のケアだけでなく、家庭訪問リハビリに同行して診察し、利用者・家族・ケアマネを含めたりハビリ会議にも参加するようにもなりました。このようにして、今の私は地域医療の中核から末端の各家庭までを見通すことができるようになったように感じています。そして今進められようとしている「地域包括ケアシステム」の構築も、私のような者が積極的に取り組むべきではないか、と感じつつあります。

そして最後に申し上げたいのは、生活支援サービスの充実には、行政、NPO、ボランティア、民間企業などだけではなく、高齢者の社会参加も重要と考えられていることです。高齢者を支援の対象としてのみ捉えるのではなく、高齢者が生活支援の担い手として活躍し、社会的役割を担って生きがいや介護予防につなげる取り組みも期待されているのです。当センターの利用者様のご家族も是非「地域包括ケアシステム」に目を向けていただければと願っております。

# 長寿を祝う会

## 表彰式



## 会場の様子



## 記念撮影

9月17日「敬老の日」に開催した長寿を祝う会で利用者様の御長寿をお祝いさせていただきました。今年は喜寿、米寿、白寿、百寿、施設最高齢の方々が表彰されました。第一部の表彰式終了後、第二部は動画の上映会と合唱を行いました。動画は東日本大震災の復興支援ソングである「花は咲く」を皆様にご覧頂きました。この日の為に利用者の皆様と職員で練習を重ね、数カ月かけて動画を作りました。皆様とても感動されていました。表彰された皆様、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。



## 「花は咲く」動画上映会

# 通所 長寿を祝う会



9月11日と12日の2日間で通所 長寿を祝う会を開催しました。毎年恒例の職員による余興は有名な落語“目黒のさんま”を披露しました。会場は終始笑い声が聞こえ、大盛り上がりとなりました。

# いづみ夏祭り



7月28日にいづみケアセンター夏祭りを開催しました。盆踊り会場では、利用者様が太鼓を叩かれ、会場は大盛り上がり。また定番のかき氷、焼きそば、ビールにジュース、漬物、そして4種類の味のフライドポテトと沢山のお店を出店して皆様喜ばれていました。

当日は台風の為、天候は雨でしたが室内は熱気が溢れる賑やかな夏祭りとなりました。

# 通所 夏祭り



8月7日から10日までの4日間、通所 夏祭りを開催しました。今年も利用者の皆様と一緒に神輿を担ぎ、全員でうちわを持って“わっしょい、わっしょい”と息の合った大きな掛け声が響きました。またじゃがバター、ところてん、たこ焼き、焼きそばの屋台を出店し、大変盛り上がりました。

# 伝統的な和楽器「尺八」演奏会



9月21日に尺八デュオ「すまいる」のけん&さゆり様による尺八演奏会が行なわれました。日本古来の伝統的な和楽器「尺八」の音色に利用者様は聴き惚れていました。ポップスや演歌などを多彩な曲目に会場は盛り上がりました。けん&さゆり様、素敵な演奏を有難うございました。

# 流しそうめんと冷汁で夏を満喫

利用者様に季節を楽しんでいただく為に冷汁作りと流しそうめんを行いました。冷汁では、みょうが、シソ、きゅうりや炒ったすりゴマを沢山入れ、流しそうめんは実際に竹を組んで行いました。利用者様から「初めてやったわ」や「幼稚園の時以来よ」と皆様とても楽しまれていました。今後も季節を感じられるレクリエーションを実施していきます。



# 本格コーヒー「いづみ Cafe」



コーヒーに精通したスタッフが淹れる本格コーヒー。フロア中に挽きたての豆の良い香りが漂い、いつもと違った雰囲気の中で憩いのひと時を楽しみました。